

SONY

**IPv6によるインターネットの利用高度化に関する研究会
IPv4アドレス在庫枯渇対応に関する広報戦略WG**

ソニーのネットワーク戦略と IPv6に関する広報についての考え方

2009年10月7日

ソニー株式会社

瀧塚博志

目次

1. ソニーのネットワーク戦略
2. ソニー製品におけるIPv6対応
3. IPv6に関する広報戦略について

ソニーグループ 中期経営方針 (2008年度～2010年度*)

～ ネットワーク対応のコンシューマーエレクトロニクスとエンタテインメントを提供する
グローバルなリーディングカンパニーを目指して ～

- ・ ソニーは、ネットワーク対応のコンシューマーエレクトロニクスとエンタテインメントを提供するグローバルなリーディングカンパニーになることを目指し、2005年に掲げた3カ年の中期経営方針に続く、以下の新経営施策を実行します。コアビジネスの更なる強化、ネットワーク関連施策の推進、ならびに急成長する国際市場でのビジネス拡大を重要施策と位置づけ、更なる成長と利益創出の実現を目指します。当社が策定した中期目標は以下の通りです。
 - ・ 既に売上高1兆円を越える4事業(液晶テレビ、デジタルイメージング、ゲーム、携帯電話)に加え、PC、ブルーレイディスク関連商品**、コンポーネント・半導体の各事業を1兆円規模のビジネスに拡大し、グループ内に7つの1兆円事業を創出
 - ・ 2010年度までに製品カテゴリーの90%をネットワーク機能内蔵およびワイヤレス対応へ
 - ・ 2008年夏のPLAYSTATION®Network上でのビデオ配信サービス開始を皮切りに、2010年度までに主要製品に展開
 - ・ BRICs諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国)での年間売上高を2010年度末までに倍増の2兆円に拡大***
- *2011年3月31日に終了する3年間。
** セグメント間取引を含む。
*** ソニー・エリクソン、ソニーBMGを含む。

ネットワーク関連のイニシアチブ

- ・ 一貫性のあるネットワークサービス戦略をすべての製品に展開
 - プレイステーションネットワーク上で、映画やテレビのプレミアムコンテンツ配信サービスの立ち上げ
 - ソニーの各製品にビデオ配信サービスを順次展開
 - ネット接続機能を搭載したブラビアによる、コンテンツのダイレクト受信
- ・ 2010年度までに製品カテゴリーの90%をネットワーク機能内蔵およびワイヤレス対応へ



- PlayStation Networkでは2006年11月のPS3発売以来2400万人(全世界)のお客様にネットワークサービスを提供



PlayStation@Home



Life with PlayStation

広がるホームネットワークの世界

プレーヤー 		パーソナルコンピューター VAIO	液晶テレビ <ブラビア> 有機ELテレビ	プレイ ステーション3	ワイヤレス デジタルフォトフレーム キャンパス オンライン	ワイヤレス プレーヤー Wi-Fi オーディオ	HDD コンボ ネットジョーク	ワイヤレス プレーヤー ネットジョーク	
		VAIO Media plus 搭載モデル(2008 年4月以降発売モ デルに搭載)	<ブラビア> W5/F5/ V5/J5/ XR1/ZX1  レンダラー 対応(写真)	<ブラビア> X7000 <有機EL> XEL-1		VGF-CP1	VGF-WA1	NAS- M700HD/ D500HD/ M95HD	NAS-C5
 パーソナル コンピューター VAIO VAIO Media plus 搭載モデル(2008年4月 以降発売モデルに搭 載)  コントローラー 対応(写真)	映像					—	—	—	—
	音楽								
	写真		 				—	—	—
 ホームサー バー ライブログ ステーション VGF-HS1	映像					—	—	—	—
	音楽								
	写真						—	—	—
 ブルーレイ ディスク レコーダー BD2-EX200/ RX100/RX50 (*1)	映像					—	—	—	—
	写真						—	—	—
 HDD コンボ ネットジョーク NAS-M700HD/ D500HD/ M95HD/	音楽								
 デジタルスチルカメラ Cyber-shot DSC-G3  コントローラー 対応	写真		 				—	—	—

ソニー製品のIPv6対応状況



液晶テレビ



BDレコーダー



ネットワーク
ウォークマン



・業務用ネットワークカメラ
・テレビ会議システム



PC



- ・ 技術的にはネットワーク経由でのソフトウェアアップデートで、大部分は対応可能。しかし、一部対応できない旧機種は残る
- ・ LSN導入にはEnd-Endの接続性の配慮が必要

家電のネット接続は増えてつつあるが、、、

- ・ **「アクティブラ」の累計接続台数、100万台達成**
(2009年5月26日株式会社アクティブラ発表)
- ・ **PlayStation®Networkのアカウント総数が日本国内にて、
200万アカウントを達成**
(2009年2月20日(金)時点、ソニーコンピューターエンターテインメント発表)

IPv6限定のサービスも一つの手段だが、、

IPv6限定のIPテレビサービス“branco:ブランコ”

ソニーマーケティング株式会社による「フレッツ光回線」+「IPv6」を利用し、
パソコンユーザーが映画・ドラマ・アニメなどの動画コンテンツを楽しむ
無料のIPテレビサービス
(2008年3月31日開始～2009年1月終了)

【視聴環境】

回線:	NTT東日本:Bフレッツ、NTT西日本:フレッツ・光プレミアム、 またはBフレッツ+フレッツ・v6アプリ
ルーター :	IPv6対応ルーター
推奨OS:	Windows XP、Windows Vista

IPv6広報戦略を進めるにあたり

➤ 現状の認識として

- 家電のネットワーク化の本格普及はこれから。
- 枯渇対策としては、まずは普及数の多いPCや携帯での、IPv6ネットワークの利用環境が整うことが前提

➤ 事業者向けの広報として

➤ ISP事業者 zu 期待すること

- IPv4/IPv6デュアルスタック対応計画の公表。その際ユーザーのコストアップに繋がらない形を希望する。LSNを利用する場合にも同様に事前の公表を望む

➤ ネットワーク機器ベンダーに期待すること

- IPv6対応状況、計画の公表

➤ 公的機関に期待すること

- 世界的にIPv6対応を進める国際協調への取り組み

➤ ユーザー向け広報として

- IPv4、IPv6でできることに大きな違いはないが、現状IPv6対応しているサイトは少ない
- IPv6対応サイト情報の広報が必要なのではないか？(ソニーでは2009年10月1日下記2サイトで対応)

Sony 日本国内向け ソニーグループポータルサイト「Sony Japan(IPv6)」 <http://ipv6.sony.co.jp/>
グローバル向け(英語表記) ソニーグループポータルサイト「Sony Global(IPv6)」 <http://ipv6.sony.net/>

「SONY」はソニー株式会社の登録商標です。
各ソニー製品の商品名・サービス名はソニー株式会社または
グループ各社の商標又は登録商標です。その他の製品及び
会社名は、各社の商号、登録商標又は商標です。

SONY